

平成30年度 一貫中等部1年 越原オリエンテーション合宿学習

中1は、5月9日（水）から2泊3日で、学園創設者^{こしはら}越原春子先生の生誕地（岐阜県加茂郡東白川村^{おっばら}越原）にて、「越原オリエンテーション合宿学習」を行い、本校生徒としての心構えと集団生活のあり方を学びました。

合宿の行程は、春子先生のお墓のお参り、学舎周辺の散策、地元の方々との交流会（村教育委員会の安江先生の講演会、老人会「長寿会」指導の縄^な縄^な縄^ない体験教室、民俗保存会^{かいさ}の檜茶太鼓演奏会、《ふるさと企画》運営施設「こもれびの里」の陶芸体験教室）など。校長先生のスライドによる「学園の歴史」学習会や、越原家の母屋の^{おもや}いろいろ端で、副学園長講話。レクリエーション活動も豊富なレパトリーで実施。所属する学習班がまとまるための約束事や目標などを一人ひとり風船に書き、一列縦隊になってその風船を班員間^{はさ}で挟んで落とさないようにして進んでいく「バルントローリー」の班対抗。皆で手をつなぎ隣の人とは足を密着させて一緒に立ちあがる「エブリボディアップ」。2人から3人、4人、…、と徐々に人数を増やしていき、33人の輪のクラス対抗では作戦を練り、何度も練習を積むなど時間をかけ、最後は学年全員の輪にチャレンジしました。

出発前はあどけない表情だった生徒たちも、合宿の間に動きも気持ちの持ち方も鍛えられ、最終日の金曜日夕方に帰名した頃には、^{たくま}遅く本校の一貫生に似つかわしい精悍な顔つきになっていました。

終礼後も、3日間寝食を共にした学友らと過ごしたひと時を名残惜しむように、教室や廊下のそこかしこで、合宿中の話題に花を咲かせ、高らかに響く笑い声を交えながら語らう姿がありました。

そして、土日の間に疲れを癒して週明けに登校した生徒たちでしたが、日常の学校生活に戻ってからも、合宿中の集団行動の成果が表れ、身に付いたきちんとした姿勢^{せいしよ}が随所に見受けられます。



【エブリボディアップ】



【檜茶太鼓の演奏体験】



【縄^な縄^な縄^な体験】



【春子先生のお墓をお参り】



【バルントローリー】



【副学園長講話で質問】



【古いもの館に昔の縄^な縄^な縄^な機が!?!】



【交替で給仕】



【陶芸体験】

ラジオ体操第1、よ〜い!



【体操の隊形にひらけ】



【初夏の美濃白川】



【親からの手紙に涙】



【お茶畑を横目に散策】